

平成 31 年 1 月
教育委員会定例会会議録

日 時 平成31年1月23日(水)
午後1時00分～1時20分
場 所 教育委員会 会議室

平成31年1月 豊田市教育委員会 定例会 会議録

開会日時 平成31年1月23日(水) 午後1時00分
閉会日時 平成31年1月23日(水) 午後1時20分
場 所 豊田市役所 教育委員会 会議室(東庁舎6階)

■ 出席委員

教育長	山本浩司
教育長職務代理者	天野勝美
委員	神崎恭紀
委員	明木茂夫
委員	佐伯英恵
委員	砂子典子

■ 説明のために出席した職員

1：教育行政部	教育行政部長	太田 庸介
	教育行政部副部長	近藤 卓也
	教育政策課長	近藤 孝浩
	文化財課長	森 泰通
	図書館管理課長	堀野 強
	美術館副館長	築山 忠司
2：学校教育部	学校教育部長	澤平 昭治
	学校教育部副部長	竹田 康孝
	学校教育課長	鈴木 直樹
	教育センター所長	加藤 秀昭
	青少年相談センター所長	野田 靖
	学校づくり推進課長	鳥居 寿
	保健給食課長	小木曾 哲也
3：生涯活躍部	生涯活躍部長	田中 茂樹
	市民活躍支援課長副課長	松井 俊幸
	文化振興課長	久野 賢児
	スポーツ課長	村中 正史
4：子ども部	子ども部長	寺澤 好之
	子ども部副部長	杉坂 盛雄
	次世代育成課長	佐野 均
	保育課長	古井 幸久

■ 事務局：書記

教育政策課副課長	渡邊 薫
教育政策課担当長	新見 徹
教育政策課主査	毛受 涼子

■ 傍聴者： 0名

議事日程

1 開 会

2 前回会議録（12月定例会）の承認について

3 議 事

番 号	案 件
報告第1号	(仮称) 豊田市博物館基本計画の策定について

4 閉 会

豊田市教育委員会定例会 会議録

1 開 会

山本教育長：ただ今から平成31年1月豊田市教育委員会定例会を開会いたします。

2 前回会議録の承認について 【 承 認 】

山本教育長：前回会議録については、お目通しをいただくため事前に委員のみなさまに送付させていただきました。今回、ご意見等の連絡はありませんでしたが、この内容でご異議ありませんか。

全委員異議なし

山本教育長：異議もないようですので、前回会議録を承認いたします。

3 議 事 【 議 決 】

山本教育長：それでは議事に入ります。

報告第1号（仮称）豊田市博物館基本計画の策定について、説明をお願いします。

文化財課長、説明

内容：計画の内容について、概要版をもとに説明

山本教育長：説明が終わりましたので、質疑を許可します。

神崎委員：博物館の目玉となる“えんにち空間”についてですが、固定的なものではなく、イベントステージのようなセクションがあって、季節ごとに豊田の魅力を次々に発信していけば、一度行って終わりではなく、リピーターとなって集客が見込まれるのではないかと思います。

森課長：“えんにち空間”は、従来の博物館の「あまり動きがない」というイメージを打破したいという思いをもって考えているスペースです。

“とよた発見屋台”は、とよた歴史マイスターの方が、屋台を持ち込んで可変的に展示やワークショップを行うことを考えています。

“未来への記憶”は、例えば今日 Kitara がオープンしてこんなことがあった、というような日常を記録する。そうした記憶が積み重なることで歴史となる。何年か後に再度訪れた時に検索する、思い出す、また新たに記憶を追加する、といったことが繰り返し行えるということを考えています。

また、“明日のとよた”は、企業等と連携して、固定的な展示ではなく、例えば年4回など定期的に展示を変更していきたいと考えています。

神崎委員：例えば、季節ごとに夏であればかき氷、冬であればお汁粉がふるまわれるなど、入り口で来場者へのおもてなしをすると多くの来場者が期待できるのではないかと思います。

明木委員：東京の上野の国立博物館の前では、いつも何かイベントが行われており、とても賑やかなのでそういったイメージが良いのではないかと思います。そこでは、ミニコンサートなどのイベントを開催されており、私が行った時は、手作りのランタンの展示をしていました。分野としては美術館に近いものでもこの空間で展開し、いつも何かここでやっているというイメージができると思います。

森課長：“えんにち空間”の他にも、屋外にはイベントフィールドができる予定ですので、美術館が屋外でのマルシェで成功しているように屋外空間とも連携してイベントを開催したり、魅力発信をしていきたいと考えています。

天野委員：美術館・文化会館と一体となった豊田市文化ゾーンにおける魅力創出とありますが、博物館はどちらかというと地味な施設というイメージがありますので、せっかく造った博物館を活かしていくためには、文化ゾーンとしての位置付けをしっかりとすることやいかに民間活力を取り込んでいくかが重要なポイントとなると思います。

また、経営的な視点でお願いしたいのが、どれだけの入場者を目標とし、それを達成するためには何をしなければならないのかを考えて運営をしてほしいということです。多くの博物館は、最初の1、2年は入場者が多くても、その後減っていってしまうと聞いているので、そうならないようしっかりと計画を練ってほしいと思います。

森課長：来年度から博物館の基本設計に入りますが、同時に事業内容や運営手法についても検討していきます。教育委員会議でも随時報告しながら進めていきます。

4 閉 会

山本教育長：これをもちまして、平成31年1月豊田市教育委員会定例会を閉会いたします。

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成31年2月13日

豊田市教育委員会

教育長

山本浩司